

【奨励賞】

地域貢献債の活用

京都産業大学 経済学部	増田 朱芳
//	宮嶋 琳
//	茂原 沙季
//	秋山 翔哉

(要旨)

近年、「無縁化社会」が問題視されているほか、多くの地域において、高齢化・人口減少・過疎化に伴う諸問題を抱えている。本提言では、社会貢献債の仕組みを応用した「地域貢献債」の活用によって、これらの解決を目指した。

運用としては、三つの方法を提案する。第一の方法は、空き家の改装であり、新たな価値を生み出すことが、地方財政や社会問題の解決につながる。第二の方法は、催しを通じた地域の強みをアピールすることであり、地域の活性化につながる。また、第三の方法としては、未使用土地の活用として一般的である太陽光発電や、焼却炉の熱を利用した廃熱発電が考えられる。

地域によって必要な施策が異なるため、どの施策を選択するかを検討が重要である。本稿では、実存する地域に関して、現地調査を行い、本提案の実行性を確認した。

本提案の実現によって、無縁化や高齢化・人口減少・過疎化に伴う諸問題が解消していくことを期待する。